

砥山農業クラブ

砥山農業小学校通信

さくらんぼ収穫と砥山の自然体験

7月8日（日）の授業

時間割	教科と内容	会 場
1	さくらんぼ収穫	砥山ふれあい果樹園
2	野菜畑の観察	
3	砥山の自然体験	豊平川河川敷
4	ジャガイモの見学	八剣山果樹園
5	山野草見学・寄せ植え体験	湯澤園芸

さわやかな空の下、この日は前回に続き中国からの3人の留学生も参加して、皆が楽しみに待っていたさくらんぼの収穫体験から授業が始まりました。



【木陰でのホームルーム】

1時限目は、砥山ふれあい果樹園でのさくらんぼの収穫体験です。広い園内には多数のさくらんぼの木があり、次々と真っ赤な実を結びつつあります。比較的早く熟する一角に案内された家族の皆さんからは、たわわに実るさくらんぼに歓声が上がりました。この一角には「水門」「佐藤錦」「紅秀峰」「南陽」といった種類があり、今食べごろは水門・佐藤錦といったところです。つやつやと宝石のように輝くさくらんぼを摘み取り、口に入れた小学生のお友だちからは、思わず「おいしい！」という声が出ました。お腹いっぱいになるまでさくらんぼを食べるという贅沢な1時限目となりました。



【家族で楽しみました】

声が上がりました。この一角には「水門」「佐藤錦」「紅秀峰」「南陽」といった種類があり、今食べごろは水門・佐藤錦といったところです。つやつやと宝石のように輝くさくらんぼを摘み取り、口に入れた小学生のお友だちからは、思わず「おいしい！」という声が出ました。お腹いっぱいになるまでさくらんぼを食べるという贅沢な1時限目となりました。

2時限目は5月に植えた野菜などの生育を観察しました。



【実を着けたカボチャ】

3時限目は砥山の自然体験で砥山栄橋下の河川敷が教室となりました。ストーンクラフト制作のために、スタッフによってテーブルやホットボンドを使うための発電機などの道具類が運び込まれています。河原で行動するための行動に関する



【完成した作品と仲間たち】

注意事項などのミーティングの後、自分が思い描くイメージにあった小石を探しはじめました。あれこれと動き回るより、じっくりと腰を落ち着けて探す方が早く見つけられたようでした。川と緑の自然を感じながら、小石をホットボンドで接着し絵具で着色して動物やアニメのキャラクターなど楽しい作品が出来上りました。

5時限目は、山野草の寄せ植え体験です。会場は湯澤園芸。ここは知る人ぞ知る、日本最大では？と思うくらい世界の銘品の品種をそろえた山野草の専門店です。店のスタッフから、多くの品種で寄せ植えをつくる時は、①それぞれの生長する姿を想像してレイアウトする②草丈の高いものから後ろの方に置いて、手前には丈の低いものを置くとよい、との説明を受けて5,6種類の野草を選びました。30センチ大の鉢に土を入れて寄せ植えが完成。



【真剣な表情で寄せ植え】

6月17日のスナップ



[思わず笑みが・・・]



[鈴なりのさくらんぼ]



[もしかして初めてのさくらんぼ摘み]



[細貝さんの世話を受けて成長しているスイカ]



[砥山栄橋下の自然体験教室]



[じっくりと目的に合った石をさがします]



[小石を組み合わせました]



[着色して出来上がり]



[完成した作品]



[真剣な表情で植えこみ]



[アドバイスと・・・]



[時には手助けが・・・]



[立派な寄せ植えが完成。それぞれが持ち帰りました]



[7/8 ジャガイモの花]

第4回予定 (8月19日)

- ◆じゃがいも収穫・試食
- ◆おたのしみ企画
- ◆さくらんぼジャム作り
- ◆野菜の収穫体験

発行：砥山農業クラブ（代表 瀬戸修一）

〒061-2275 札幌市南区砥山84番地
電話 011-596-2694 FAX 011-596-2721
e-mail toyamafureai@gol.com
<http://www.hakkenzan.com/nosyo/>